

## 青木美樹 (p)

### 東京物語～斎藤高順・ピアノ曲集

KK・Profil ◉ KKC 5930 ¥3,000 [10.20]

Classic



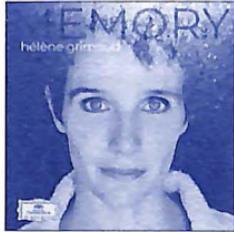
これは灯台下暗である。映画でしか知りえなかった小津安二郎の「東京物語」の音楽が作曲家自身によるオリジナル・ピアノ版で蘇る。作曲したのは斎藤高順(1924~2004年)。むろん世界初録音。映画録音前に小津に聴かせて可否を問う試演で作曲家みずからが演奏した。全9曲(「軍艦マーチ」の編曲も含む)はすべて長調で書かれ、「東京物語」の内容や様式にピタリと符合する。吹米で教育を受け研鑽を積んだ青木美樹のピアノは、偏りがなく作品の真価を精妙に描き出してくれる。併録曲のピアノ作品もたいへんに魅惑的。(斎藤弘美)

## エレーヌ・グリモー (p)

### メモリー

UM・ドイツ・グラモフォン ◉ UCCG-1817 ¥2,800 [10.17]

Classic



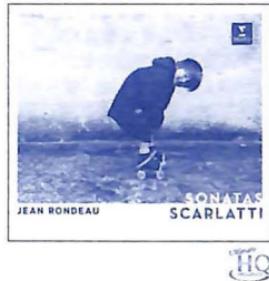
前作に続く独創的コンセプト・アルバム。テーマは「記憶」。一見、え?と思うほどよく知られた小品が並んでいるが、曰く「リスナーを瞑想状態へ誘う」、耳は明晰に覚醒させながらも、時間を濃縮させるような音の運びで、初めの一音から深い幻想の中に引き込んでいく。1曲1曲完結して聴かせるのではない。似通った響きや音型を持つ曲をつなげ、前の曲の余韻が残る中、ゆらりと似て非なる音を立ち上げて、夢見のごとく次なる想いへ感性を移ろわせる。音の記憶が異相に揺らぐ未聴の仕掛け。サティもユレる。(中野和雄)

## ジャン・ロンドー (hc)

### ドメニコ・スカルラッティ：ソナタ集

WP・エラート ◉ WPCS-13796 ¥2,800 [10.17]

Classic



①D.スカルラッティ:①ソナタ長調K.208  
②ソナタ短調K.175③ソナタ短調K.69④ソナタ短調K.141⑤ソナタ短調K.213⑥ソナタホ長調K.216⑦ソナタホ長調K.162⑧ソナタハ長調K.132⑨間奏曲(即興のインターミッション)(ジャン・ロンドー)⑩ソナタ短調K.6⑪ソナタ長調K.180⑫ソナタ短調K.30⑬ソナタニ長調K.119⑭ソナタハ長調K.199⑮ソナタハ長調K.460⑯ソナタ短調K.481／演奏:ジャン・ロンドー(hc)/録音:2018年1月7~11日 スイス・ラ・ショード=フォン "L'heure bleue salle de Musique"

## “ハジける”スカルラッティ演奏

衝撃が走るスカルラッティ演奏である。強靭なタッチから繰り出される一音一音が、新たな生命力を得たように、文字どおりエネルギーに“ハジける”。強奏による華やかな楽想のみならず、穏やかなフレーズにおいても陰影深く、硬派なダンディズムが漂う。ピアノ演奏によってひとつの世界観が固定化された感のある現代のスカルラッティ演奏だが、ロンドーの演奏は、もともとの曲の醍醐味を呼び覚ましてくれる。スカルラッティのソナタは標準的なカーケ・パトリック番号(K)だと555曲を数えるが、本盤にはそのうちの15曲を収録。アルバムの中間にはロンドー自身による「間奏曲」(即興のインターミッション)も挟み込まれ、当時行なわれていたであろう演奏会の模様が再現されるのも一興。既存の名盤が震んでしまうほど刺激的ゆえに、エキセントリックに聴こえてしまう危険もあるが、今後のスカルラッティ演奏の在り方に一石を投じることは疑いない。(斎藤弘美)

# 小津映画を支えた作曲家

映画音楽の名曲を集めたギタリスト村治佳織の「シネマ」（デッカ）が出たが、映画音楽は今や、20世紀以降の劇音楽として立派なクラシック曲目。「クラシック」作曲家も多く手掛けた。今年生誕100年で、ラトル指揮の初期傑作ミュージカル「ワンダフル・タウン」（LSO）が出た指揮者。作曲家バーンスタインも「波止場」の音楽を書き、再発盤「バーンスタインのニューヨーク」（ノンサッチ）で一部聴ける。ジョン・ウィリアムズは「スター・ウォーズ」「E.T.」などの楽曲が交響楽団の定番曲目だが、ダラス・ウィンド・シンフォニーによる吹奏楽版も登場（レファレンス）。

日本にも注目だ。名匠・小津安二郎の

映画音楽の多くを作曲した斎藤高順たかのぶのピアノ曲集「東京物語」、ピアノは青木美樹（プロフィル）。小津映画の音楽は、画面の喜怒哀樂に寄り添うより、ポルカやマーチが終始淡々と流れる印象がある。それは監督の狙いであり、無声映画で画面に一定のリズムを与える樂士の音楽を継承したもの。小津いわく「何が起ころうと、いつもお天気のいい音楽」。その要求に完璧に応えた斎藤が「東京物語」「早春」「秋刀魚の味」などに書いた楽曲を、近年発見された貴重なピアノ譜による演奏で聴く。斎藤の他の作品も収録され、この作曲家の再評価に好適。前述した海外の映画音楽と異なる独自の美学にあらためて耳を澄まそう。（矢）

片山杜秀、金澤正剛、諸石幸生、矢澤孝樹の4氏が合議で選びました。

◎特選盤 ○推薦盤 ♥個性派 ♠輸入盤

# ■新着CD

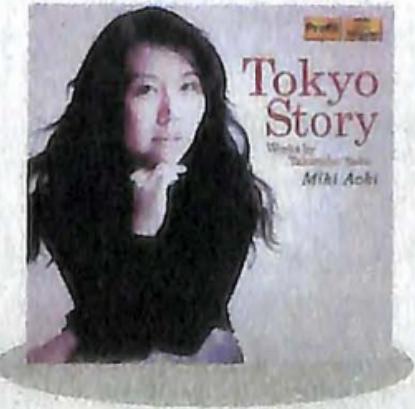
■本堂誠／バリトニズム ロシア・チェロ作品集 パリで研鑽を積んだ注目のバリトンサックス奏者のデビュー作。選曲したラフマニノフとショスタコーピッチ、グラズノフはいずれもサックスにゆかりのある作曲家。低音のバリトンサックスは叙情豊かに歌い、哀愁が漂う。曲との絶妙



な相性を感じさせ、豊潤な世界観が広がってくる。  
(オクタヴィア 3240円)

## ■青木美樹／東京物語

斎藤高順 ピアノ曲集 「東京物語」や「秋刀魚の味」など小津安二郎監督の映画音楽を手掛けた斎藤高順。小津に曲の是非を問うため、まずピアノ用に書いた楽譜が3年前に見つかり、初めて録音した。斎藤は小津の注文に応え、物語の展開に合う人物の感情を增幅



する曲は一切書かなかつたといい、さりげなく光る上品な作品ばかり。  
(キング 3240円)

# 文化往来

映画「秋刀魚の味」「東京物語」など7作品など、小津安二郎監督の多くの作品で音楽を担当した作曲家の斎藤高順（1924）。

国内 小津映画支えた斎藤高順。ピアノ曲集 CDに

あえて軽快で明るい旋律を用いるなど、観客に感情移入させすぎない

の劇中に使われた8曲と、斎藤が作編曲した5曲。15年に遺族が偶然、映画音楽のピアノ演奏を録音したテープを発見したのを機に、常に持っていた。静かな場面に遺族から話を聞いた。それによれば、小津監督は音楽に直接口に出すことは少なかつたが「理想像はナショナルの宮山幸久氏は斎藤の印象は薄いが、実はそこに価値がある」と宮山氏はみる。

CDを制作するにあたり、プロ

た。